

**（件名） ASEAN 事務所 副所長の着任について****■はじめに**

2020年10月の人事異動で、北洋銀行からの派遣で参りました北海道 ASEAN 事務所の本間です。平時であれば、労働ビザ(以下、EP)申請から約1か月程度で赴任できるところ、新型コロナウイルスの影響で約2か月の時間を要しましたが、無事にシンガポールに渡航できました。本レポートでは、日本出国から入国後14日間の隔離期間終了までの最新の概況をお伝え致します。

■シンガポールへの入国申請後～日本出国まで

日本国内において、出国72時間以内のPCR検査を受け、オンラインでシンガポール政府へ健康状態の申告を事前に実施します。

出発に際し、シンガポール入国時に必要な書類(①PCR検査陰性証明書、②IPAレターと呼ばれるEP承認文書、③入国許可承認メール)については、利用空港(新千歳空港及び関西国際空港)にて厳重に確認されます。私は関西国際空港からシンガポール航空を利用しましたが、乗客は30名程度(席数300超)と閑散としていました。

■シンガポール到着～隔離施設への移動

シンガポール到着後、検疫を経て入国審査を実施します。

入国者1名1名に空港職員が付き添い、必要書類や健康状態の申告を済ませたかの確認をされ、イミグレーションへ案内されます。飛行機着陸からイミグレーション通過まで、約30分程度と通常時とほとんど変わらずスムーズでした。その後、到着ゲート出口付近に設置された受付ブースに案内され、本人確認実施後シンガポール政府が用意したバスに乗り込みます。6名程度が同じバスに乗り込み、隔離施設(ホテル)へと出発しますが、どのホテルになるかは我々には知らされません。ホテル到着後、検温や隔離生活中の注意事項について説明を受け、部屋に案内されます。隔離期間中に1度実施されるPCR検査時以外は、ホテルの部屋から一步も出ることが許されません。



(チャンギ空港入国審査場の様子)

■隔離期間中について

隔離期間中は、Homerと呼ばれるアプリを通じ1日3回の検温報告、電話によるシンガポール政府及びホテルスタッフからの健康状態の確認が毎日実施されます。

食事は決められた時刻に部屋の前に配膳され、その時のみドアを開けることが許されています。尚、宿泊者に対し、家族や知人がホテルのフロント経由で必要物資を届ける事は可能です。

隔離費用及びPCR検査費用(計2,150SGD)については、隔離期間中にクレジットカードにて決済します。※VISA、MASTER、AMEXのみ利用可能。

隔離生活12日目にホテル最上階のレストランにてPCR検査を実施し、2日後にスマートフォンのSMSに結果が届きます。陰性であれば、15日目の正午に隔離が終了となります。



(食事配膳の様子)

■その他

シンガポールへの入国や隔離措置については、状況に応じて随時変更されています。実際、7月に当事務所所長が入国した際は、事前のPCR検査は不要、また自宅での隔離が可能でしたが現在は自宅での隔離は認められていません。シンガポールに渡航される際は、在シンガポール日本大使館・外務省HPなどを十分にご確認頂くようお願い致します。



報告者 副所長 本間 絢太（北洋銀行からの派遣）

（件名） シンガポール人の北海道への関心について

当事務所は、11月22日（日）に主にシンガポールを対象としたオンライン旅行博に参加しました。オンライン旅行博では、北海道からのライブ配信やオンラインでのブース相談などを実施し、その様子については、先月の当レポートで報告いたしました。

今回は、イベント終了後に実施したアンケート結果の概要と回答いただいた方にノベルティグッズを配布したので、その反応についてお伝えいたします。

1. アンケートについて

（1）概要

回答者数：185名

主な質問：北海道旅行の一番の動機は

選択肢（景色、アクティビティ、食、その他）

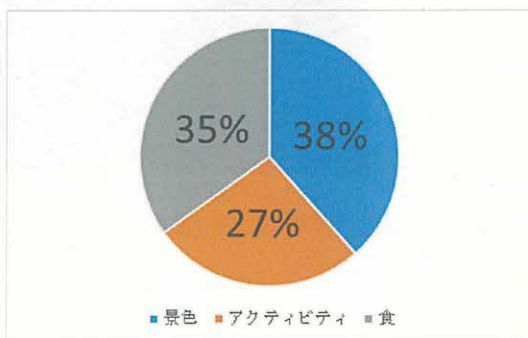
北海道に旅行したとき、どんな心配事がありましたか

選択肢（交通情報、言葉の問題、Wi-Fi環境、観光情報の不足、食事（ハラル等）、その他）

（2）結果

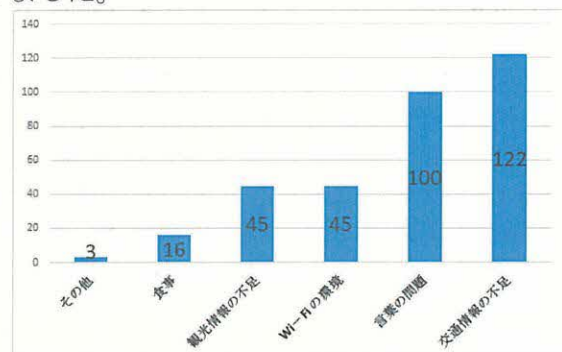
＜北海道旅行の一番の動機は＞

景色38%、アクティビティ27%、食35%、その他0とイメージとおり、景色と食が強く、それにアクティビティが続く結果となりました。



＜北海道旅行でどんな心配事がありましたか＞

交通情報を言葉の問題をあげる人が多く、それにWi-Fi環境、観光情報の不足が続く結果となりました。



2. ノベルティグッズの配布と反応について

アンケートに回答いただいた方（185名）を対象に12月14日（月）から12月28日（月）の間、ノベルティグッズを当事務所に取りに来ていただく形で配布しました。

ノベルティグッズの内容は新型コロナウイルス感染症が収束した後の旅行計画の参考になるようにツーリストマップやガイドブック、クリアファイル等のセットとしました。



準備段階では、事務所に連れて来ていただく必要があるため、40セットで足りるのではと考えていましたが、ふたを開けてみると日によっては10名以上の方の来所があり、最終的には約80セットのグッズを配布することとなりました。受け取りに来られた方の中には、この状態が終わり旅行に行けるようになったら2週間くらいかけて北海道を旅したいと熱っぽく語られる方もいらっしゃいました。観光旅行の解禁後には北海道を旅行先として選んでいただけるよう、継続した情報発信を行っていきます。